Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/12/13

Fores

	Close	CHANGE
USD/THB	34.87	0.12
JPY/THB	0.2534	-0.0009
USD/JPY	137.67	1.11
EUR/THB	36.74	0.17
EUR/USD	1.0537	-0.0003
USD/CNH	6.990	0.026
SGD/THB	25.74	0.10
AUD/THB	23.53	-0.07
USD/INR	82.54	0.26
USD Index	105.13	0.32

Rond

4.75 4.25 4.00 3.75 3.25 3.00 2.75 2.50 2.75

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.058	0.000
10Y (THB)	2.586	0.000
5Y (USD)	3.789	0.021
10Y (USD)	3.611	0.033

5Y Bond (Blue:THB, Red: USD)

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,780.5	-17.6
WTI (Oil)	73.17	2.15
Copper	8,374.0	-169.0

Stock

105

100

95

90

85

80

75

70

65

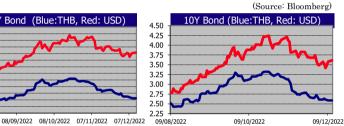
09/08/2022 08/09/2022

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,623.13	0.00
NIKKEI (JP)	27,842.33	-58.68
DOW (US)	34,005.04	528.58
S&P500 (US)	3,990.56	56.18
SHCOMP (CN)	3,179.04	-27.91
DAX(GER)	14,306.63	-64.09

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(169)	0.0
Bond net flow	(1,664)	0.0

*compared with previous day



WTI (Oil)

Stock (Blue/Left: SET , Red/Right: SP500) 1700 4600 4400 1650 4200 1600 4000 3800 1550 3600 1500 3400 09/08/2022 09/09/2022 09/10/2022 09/11/2022 09/12/2022

09/10/2022

MIZUHO

09/09/2022

09/09/2022

39.00

38.50 38.00 37.00 36.50 36.00 35.50 35.00

34.00 09/08/2022

0.2800 0.2750 0.2700 0.2650

0.2600 0.2550 0.2500

0.2450 09/08/2022 USD/THB

09/10/2022

JPY/THB

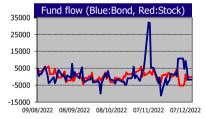
09/11/2022

09/11/2022

09/12/2022

09/12/2022





Yesterday's market summary

・9日(金)のドルバーツは動意の乏しい推移となった。34バーツ台後半でスタートしたドルバーツはバンコク時間、特段の材料ない中、同水準での推移が継続。海 外時間に入り、米11月PPIが前月比でコア指数も含め市場予想を上回る結果となったものの、週末を控え積極的な取引が控えられる中、相場への影響は限定 的に。結局そのままオープンとほぼ同水準でのクローズとなった。昨日のドルバーツは小幅に上昇。米CPI、FOMCを控える中、様子見ムードが広がるも、米金 利の上昇を眺め、ドルバーツもじりじりと値を上げる展開に。海外時間に発表された米12月ミシガン大学消費者マインド指数が市場予想を上回ったことも米金利 の上昇をサポートする格好となり、終盤にかけてドルバーツも上げ幅を拡大させ、34.87レベルでクローズを迎えた。

08/10/2022 07/11/2022

・9日(金)のドル円は下に往ってこいの展開となった。136円台後半でスタートしたドル円は、序盤、実需の売買が交錯する中、まとまった円買いが持ち込まれた か下落し、一時136円割れを示現。その後は136円を挟んだ推移となるも、米11月PPIが市場予想を上回る結果となると、発表時135円台後半で推移していたドル 円は136円台後半まで上昇。結局136円台半ば付近でのクローズとなった。昨日のドル円は米金利の推移を横目に上昇する展開。重要イベントを控える中、前 日のPPIをはじめ米国経済指標の堅調な結果に米金利が底堅く推移する中、ドル円も堅調に推移。海外時間に137円を明確に突破すると、137円台後半まで勢 いよく上昇。そのまま137.67レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

タイの祝日を挟んだ9日(金)、12日(月)のドルバーツに大きな動きは見られなかった。本日の米11月CPI、14日(バンコク時間15日2:00)のFOMC結果公表を控 え、様子見ムードといったところだろうか。CPIについては6月分の+9.1%(前年比)をピークに上昇ペース鈍化の傾向が見られる中、今回の結果に注目が集ま るところ。また、FOMCについてはドットチャートをはじめ、今後の利上げに係る材料を探ることになろう。いずれも注目度が高いだけに結果次第では相応の 値幅を伴うことが想定される。ただ、これらのイベントを消化した後はクリスマス休暇からの年末モードとなり、マーケットの流動性低下が予想され、ここでも 突発的に相場に大きな動きが発生する可能性がある。2019年の日本正月休暇中に円が瞬間的に急騰したことは記憶に新しい。年末年始に向けて為替の 手当が必要な場合はご留意を頂きたい。(末廣)